

第 100 号議案 令和 6 年度長崎市一般会計補正予算（第 4 号）

【目次】	ページ
------	-----

第 6 款 農林水産業費

6-3-2 水産業振興費	2
------------------------	---

水産農林部
令和 6 年 9 月

予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
14 ～ 15	6 農林水産業費	3 水産業費	2 水産業振興費	1 - 1	養殖魚赤潮被害緊急対策事業費補助金	千円 304,322

1 現 状

令和6年6月から8月にかけて県内各地において広範囲に赤潮(シャットネラ・アンティーカ)が発生し、県内で53万尾、15億円の養殖魚のへい死被害が発生しており、長崎市においても三重地区及び戸石地区で養殖されているブリやヒラマサ、シマアジなどに被害が発生した。

三重地区においては、養殖業者1者(全1者)において、養殖産地の崩壊の危機に瀕する規模の被害が生じており、経営維持が極めて困難な状況となっている。また、戸石地区においては昨年度の被害を受け、漁場監視の強化や早期の防除対策に努めていたものの、被害を受けた養殖業者5者(全8者)にとっては、2年連続となり、復興に取り組んでいる養殖漁者にとって非常に深刻な状況となっている。

【被害状況(概数)】

地区	被害魚種	被害尾数	被害金額
三重	ブリ・ヒラマサ	10万尾	4.0億円
戸石	シマアジ・トラフグほか	5万尾	0.6億円
計		15万尾	4.6億円

【過去の被害状況】

年	要因	地区	被害金額
R5	赤潮	戸石	868,873千円
R2	台風・豪雨	戸石・三重・野母	279,300千円
H22	赤潮	戸石	529千円
H21	赤潮	戸石	3,915千円
H12	赤潮	戸石	19,890千円

2 対応方針

長崎市の魚類養殖においては戸石ゆうこうシマアジや黄金ブリ・ヒラマサといった品質にこだわった養殖魚が生産されており、地域漁業を支える主力な養殖魚であるとともに、今後、長崎市を訪れる観光客に対する重要なおもてなしアイテムの1つとしても期待されている。しかしながら、今回の赤潮被害によって、事業の再開が厳しい状況となっていることから、県市協調し強力な支援を行うことで生産再開、産地の再生につなげる。

橘湾における赤潮対策の動き

1 国への要望（令和5年9月）

- 要望先：農林水産省・総務省
- 要望者：県・県議会・長崎市・長崎市議会・雲仙市・雲仙市議会・たちばな漁協・橘湾東部漁協
- 内 容：損失の直接補填、養殖共済の見直し及び負担軽減、発生メカニズムの解析、財政支援措置

2 国・県の支援（令和5年度11月補正予算）

- 国：海洋環境の変化に対応した養殖生産構造改革事業
- 県：有明海等赤潮対策緊急支援事業（65,000千円）
- 補助対象者（補助率）：漁業協同組合（10/10）
- 事業内容：赤潮モニタリング調査、被害防止軽減に係る調査



令和6年度 橘湾におけるモニタリング体制

- ・観測テレメータの増設（1基1点⇒2基4点）
- ・自動顕微鏡システム「seaMS」の設置（0基⇒2基）
- ・モニタリング強化
漁場：5地点/隔週⇒7地点/毎週、沖合：0⇒3地点/毎週
- ・防除剤散布（防除剤購入費、用船料）

有害プランクトンの早期発見、迅速な防除による赤潮被害軽減

赤潮被害発生時の対応

第1段階（初期対応）

- 餌止めの徹底
- 赤潮防除剤の散布
初期対応として、防除剤を散布



第2段階（へい死魚処理）

- へい死魚の処分
東工場、西工場
県央県南クリーンセンター（諫早市）
処理事業者への委託



第3段階（再建支援）

- 養殖共済による補填
- 代替魚導入、足し網等の整備
事業者の早期の事業再開、今後の赤潮対策として代替魚導入・足し網等の整備支援

- について県と協調した支援を実施

赤潮被害の状況写真

有害プランクトン
シャットネラ・アンティーカ



へい死により陸揚げされたシマアジ



へい死により陸揚げされたヒラマサ

(1) 被害対策

へい死魚処理・赤潮防除対策への支援

ア へい死魚処理・赤潮防除対策

(ア) 事業名：新たにチャレンジ水産経営応援事業

(イ) 補助対象者：長崎市新三重漁業協同組合、長崎市たちばな漁業協同組合

(ウ) 事業内容：へい死魚の処理や赤潮防除対策への支援

(エ) 補助対象経費：へい死魚の処理費、へい死魚の運搬費、資材費、燃料費及び防除剤購入費
※消費税相当額を除く

(オ) 総事業費：11,722千円

a へい死魚処理費（約50トン） 652千円

b へい死魚運搬費 930千円（※資材費等含む）

c 防除剤購入費（約30トン） 10,140千円（防除剤 約1,300袋）

(カ) 補助率 10/10 11,722千円

内訳 県（1/2） 5,861千円

市（1/2） 5,861千円

(2) 養殖経営対策

へい死した養殖魚の代替魚導入支援・赤潮被害軽減対策に対する支援

ア 代替魚導入に対する支援

(ア) 事業名：養殖魚赤潮被害緊急対策事業（代替魚導入支援）

(イ) 補助対象者：赤潮被害を受けた養殖業者（補助の適用基準を満たすもの）

（補助金交付先：長崎市新三重漁業協同組合）

(ウ) 事業内容：へい死した養殖魚に代わる代替魚導入への支援

ただし、養殖共済への加入及び赤潮被害軽減対策を条件

(エ) 補助対象経費：代替魚の導入費（輸送費を含む）※消費税相当額を除く

(オ) 総事業費：399,900千円

a 代替魚導入 391,200千円（ブリ・ヒラマサ等 87,000尾）

b 輸送費 8,700千円（87,000尾×100円）

(カ) 補助率 2/3 266,600千円

内訳 県（1/3） 133,300千円

市（1/3） 133,300千円

3 事業概要

【代替魚導入数量等の想定】

魚種	年数	導入想定 尾数(尾)①	導入価格 (円/尾)②	導入金額(円) ③=①×②	輸送費 (100円/尾) ④=①×100	導入費合計 (円) ⑤=③+④
ブリ	2年魚	38,000	4,440	168,720,000	3,800,000	172,520,000
ヒラマサ	2年魚	11,000	2,400	26,400,000	1,100,000	27,500,000
ヒラマサ	3年魚	38,000	5,160	196,080,000	3,800,000	199,880,000
計		87,000		391,200,000	8,700,000	399,900,000

※導入尾数及び輸送費金額は推計値

導入価格は令和5年度の代替魚導入価格による

3 事業概要

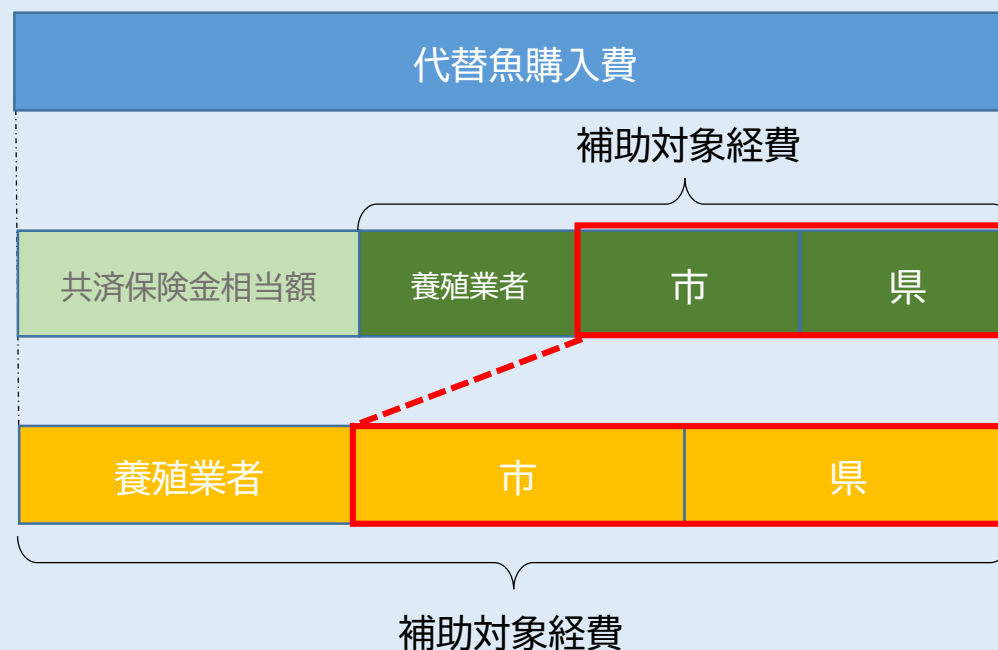
代替魚導入の補助対象基準及び補助対象経費の考え方

	被害金額	地域の被害割合	補助の適用基準
A	5千万円以上	5割以上	通常補助
B	1億円以上	4割以上	
C	1億5千万円以上	3割以上	
D	2億円以上	2割以上	
E	2億5千万円以上	1割以上	
F	3億円以上	規定なし	
G	規定なし	7割以上	拡充補助

※拡充補助を受ける場合は、赤潮被害軽減対策(足し網等)を実施することが要件

通常補助
代替魚の購入費から共済保険金相当額を除いた経費について、県・市合わせて3分の2を支援

拡充補助(昨年度及び今年度)
代替魚の購入費について、県・市合わせて3分の2を支援



3 事業概要

イ 赤潮被害軽減対策に対する支援

(ア) 事業名：養殖魚赤潮被害緊急対策事業（赤潮被害軽減対策）

(イ) 補助対象者：赤潮被害を受けた養殖業者（補助の適用基準を満たすもの）

（補助金交付先：長崎市新三重漁業協同組合）

(ウ) 事業内容：赤潮被害軽減を目的とした足し網や深い網等の導入への支援

(エ) 補助対象経費：足し網等の導入費 ※消費税相当額を除く

(オ) 総事業費：39,000千円

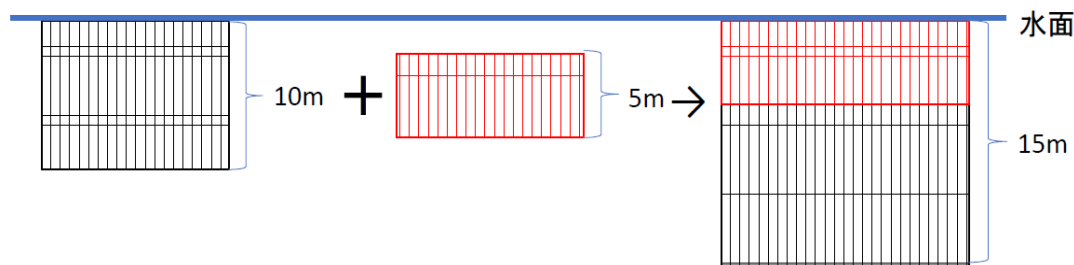
足し網、鋼管中間枠導入 1,300千円×30台

(カ) 補助率 2/3 26,000千円

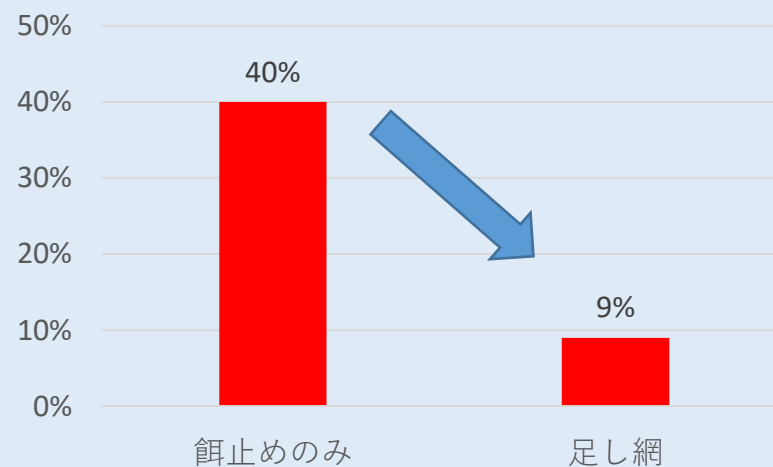
内訳 県 (1/3) 13,000千円

市 (1/3) 13,000千円

足し網： 生簀網を追加し、底網深度を延ばすことで赤潮からの逃げ場を作る



鹿児島県養殖魚へい死率（％）



4 財源内訳

	事業費 ①	予算計上額 ②	財 源 内 訳				事業者 負担額 ①－②
			国庫支出金	県支出金※	その他	一般財源	
当初予算	千円 18,928	千円 18,928	千円 －	千円 －	千円 －	千円 18,928	千円 0
9月補正 (4号)	450,622	304,322	－	152,161	－	152,161	146,300
補正後	469,550	323,250	－	152,161	－	171,089	146,300

※ 新たにチャレンジ水産経営応援事業費補助金（補助率 1/2）
 養殖魚赤潮被害緊急対策事業費補助金（補助率 1/3）

5 繰越明許費

（単位：千円）

事業名	金 額		財 源 内 訳			
			国庫支出金	県支出金※	その他	一般財源
養殖魚赤潮被害緊急 対策事業費補助金	補正後予算現額	323,250	－	152,161	－	171,089
	支出予定額	30,650	－	5,861	－	24,789
	繰越明許額	292,600	－	146,300	－	146,300

※養殖魚赤潮被害緊急対策事業費補助金

（１）繰越理由

養殖魚の被害尾数に対応した代替魚及び赤潮軽減対策として実施する足し網等の導入が今年度内に完了しない見込みであるため。

【参考：昨年度事業との比較】

事業内容	令和5年9月補正	令和6年9月補正
へい死魚処理・赤潮防除対策	5,204千円	11,722千円
代替魚導入支援	547,126千円	266,600千円
赤潮被害軽減対策（足し網等）	—	26,000千円
漁業制度資金の利子補給	2,474千円	—
漁業制度資金の保証料補助	5,276千円	—
計	560,080千円	304,322千円

赤潮防除対策に係る今後の対応

1 赤潮対策に係る国への要望【令和6年度】

(1) 赤潮被害に対する支援に関する要望

【日 程】令和6年7月18日

【要望者】長崎市・長崎市議会

【要望先】農林水産省

【要望内容】養殖共済制度の充実

(2) 赤潮被害対策に関する緊急要望

【日 程】令和6年7月30日

【要望者】熊本県・長崎県・鹿児島県

【要望先】農林水産省・総務省

【要望内容】

①事業継続・経営安定に向けた支援の充実

- ・損失への直接支援
- ・養殖共済制度の見直し
- ・資金融資に関する支援
- ・赤潮被害抑制の取組み支援
- ・赤潮被害軽減のための施設整備に関する支援

②有害赤潮の被害軽減技術等の確立

③赤潮対策に取り組む地方公共団体に対する財政的支援



今後の対応（防除対策）

●赤潮防除剤の備蓄

- ・赤潮が発生した場合に必要な防除剤の備蓄

●赤潮防除体制の構築

- ・DXを活用した監視体制の強化
- ・長崎県や長崎大学、漁協等の関係団体と連携した体制の強化